

“まず、あなたのお名前を
名乗ってください”

—当院の実態調査—

患者さんにお願

患者間違い防止にご協力をいただいています。

**まず、あなたのお名前を
名乗ってください。**

診察の時

注射の時

検査の時

手術の時

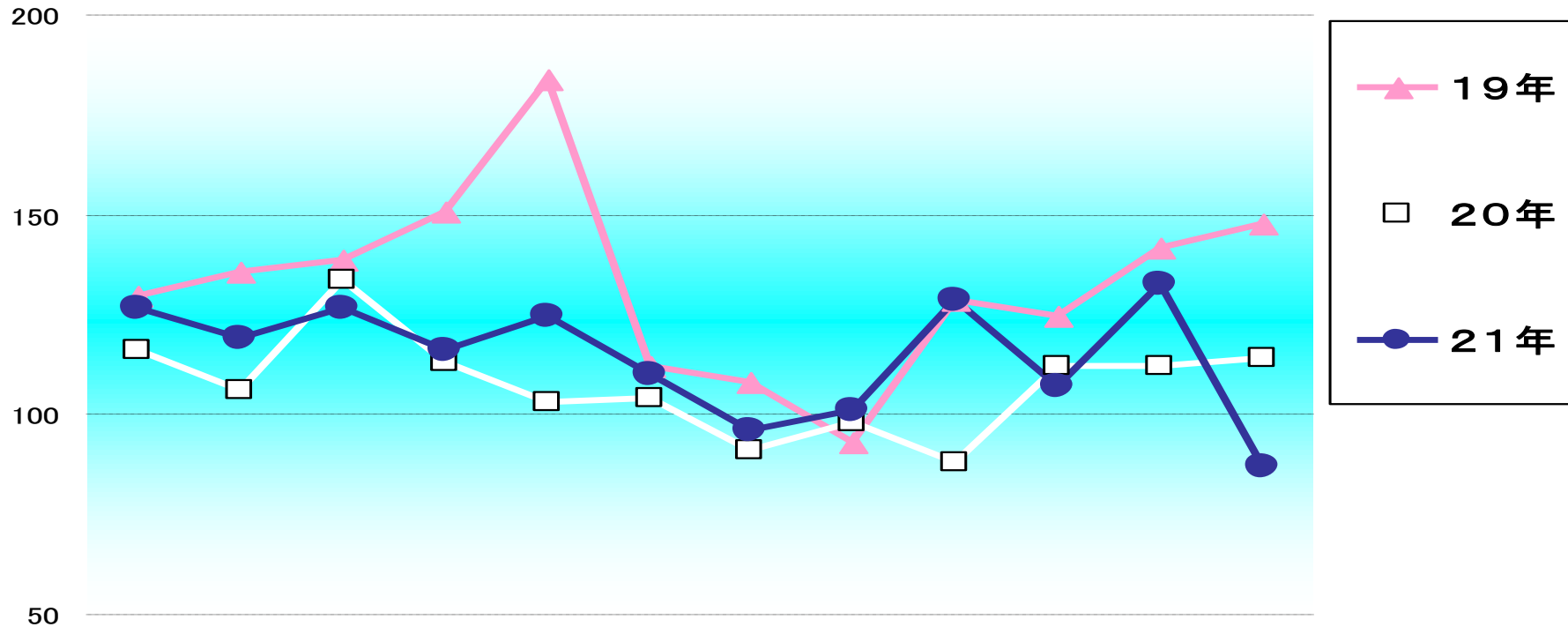
富士宮市立病院 病院長

富士宮市立病院

看護部 寺尾智恵子

インシデントレポート月別推移

(平成19年・20年・21年)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総件数	平均
19年度	130	136	139	151	184	112	108	93	129	125	142	148	1597	133
20年度	116	106	134	113	103	104	91	98	88	112	112	115	1292	108
21年度	127	119	127	116	125	110	96	101	129	107	133	87	1382	115

医療事故の言い逃れのできない過失

- ① 誤薬
- ② 患者誤認(人違い・ 左右)
- ③ 異型輸血
- ④ 手術時の異物残置

患者誤認事故 たとえば

- 1999年 横浜市大手術取り違え 肺と心臓
- 2005年 国立がんセンター検体取り違え肺がん手術



後遺症や命に繋がる重大事故
実行行為者責任

医療安全管理目標

(平成18～21年継続)

患者誤認「0」をめざす

確認は個人の責任

平成15年開始

平成19年開始

平成20年開始


平成22年開始

(2010.9 医療安全管理室作成)

患者さんをお願い

患者間違い防止にご協力をいただいています。

**まず、あなたのお名前を
名乗ってください。**



診察の時



注射の時

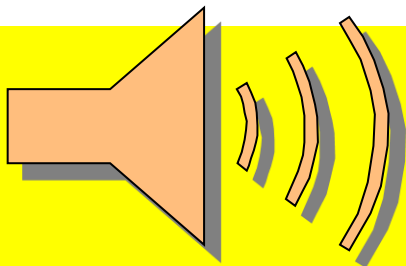


検査の時



手術の時

富士宮市立病院 病院長



毎日の放送

平成21年開始

患者の皆様をお願いいたします。

当院では、患者さんをお呼び出した際、違う患者さんが入ってこられることがありました。

患者さんを間違えてしまうことは重大な事故に繋がります。

診察や検査、注射の前には、患者さんから、お名前を名乗っていただきますようお願いいたします。」

実態調査

実施日：平成19年 2月 9日
平成22年10月12日

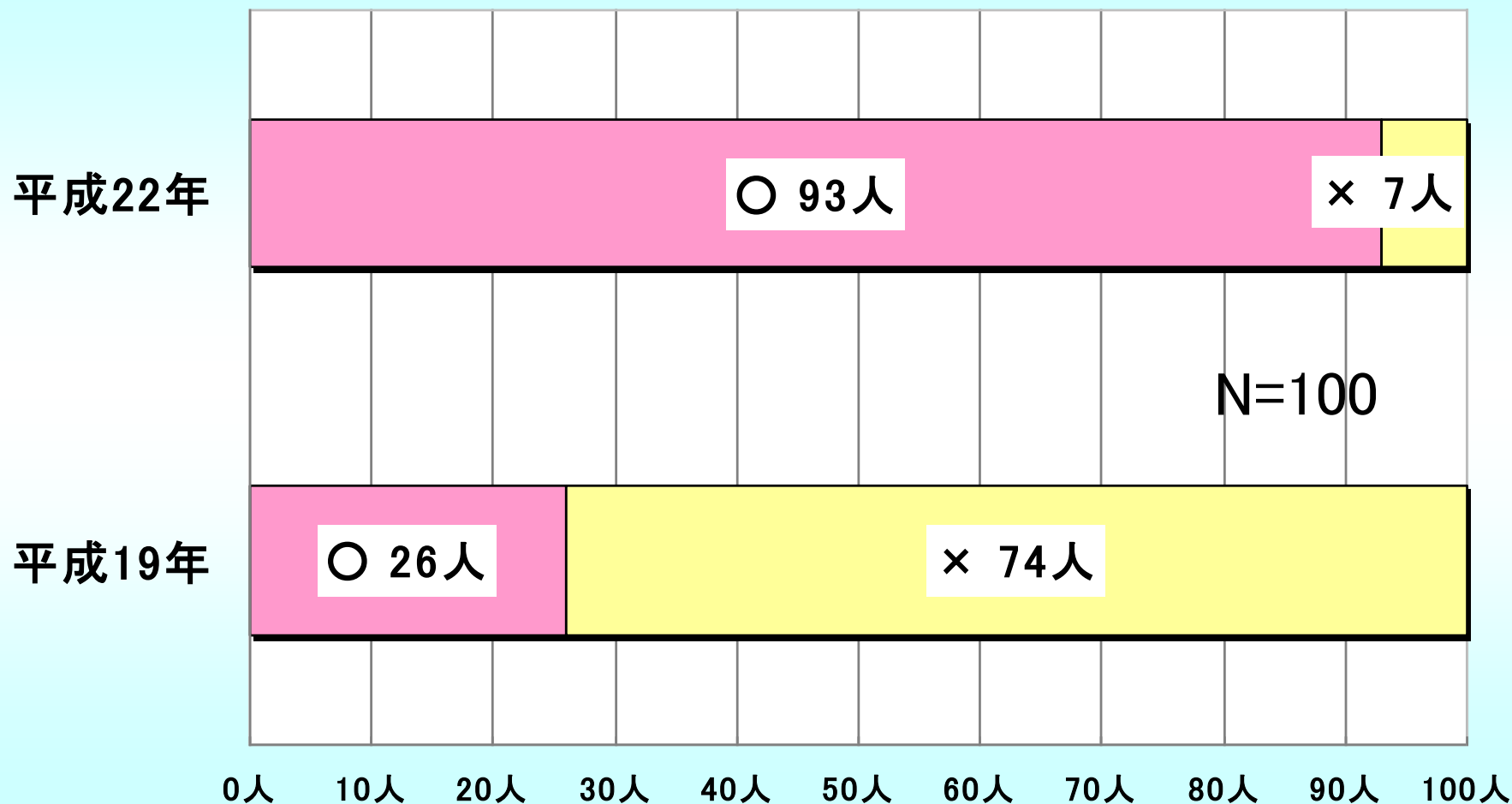
場所： 当院内科外来
診察室・処置室

内科外来診察室：100人
内科処置室： 50人

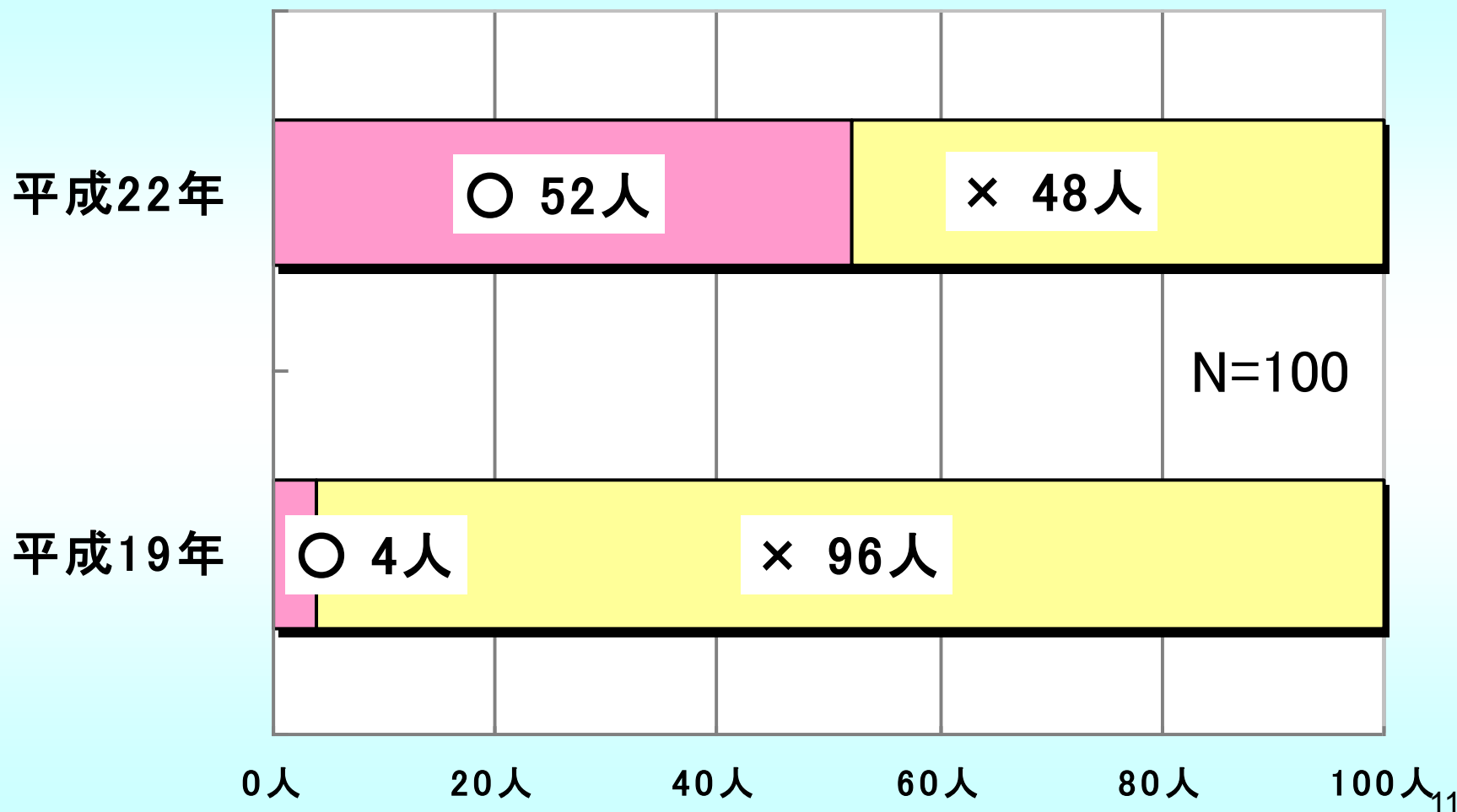
調査内容

1. 診察室入室時又は診察前、処置前に名前の確認をしているか？
2. 患者に名前を名乗ってもらっているか？
3. 患者は自ら名乗っているか？

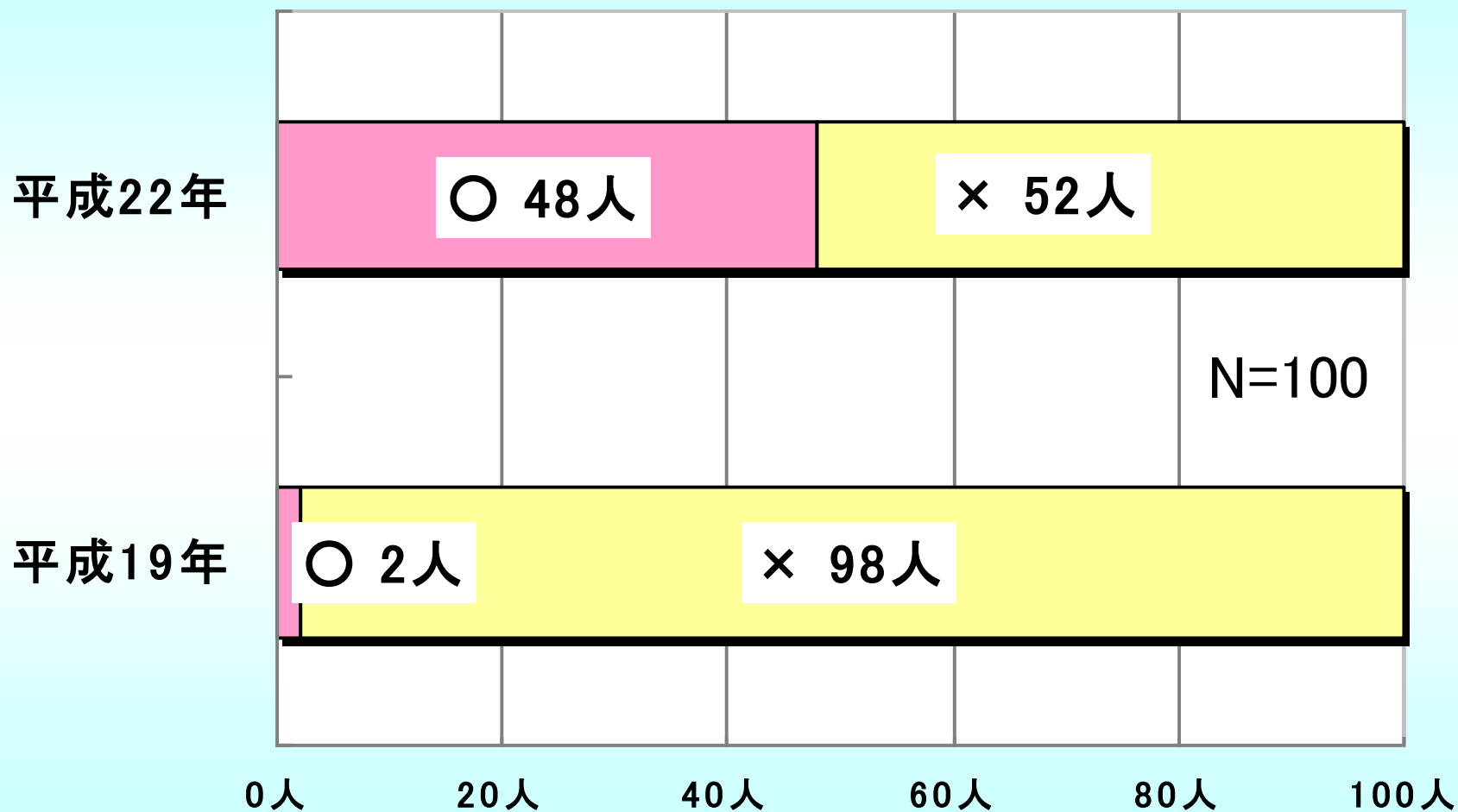
医師は患者入室時又は診察前に 名前の確認をしているか？(画面)



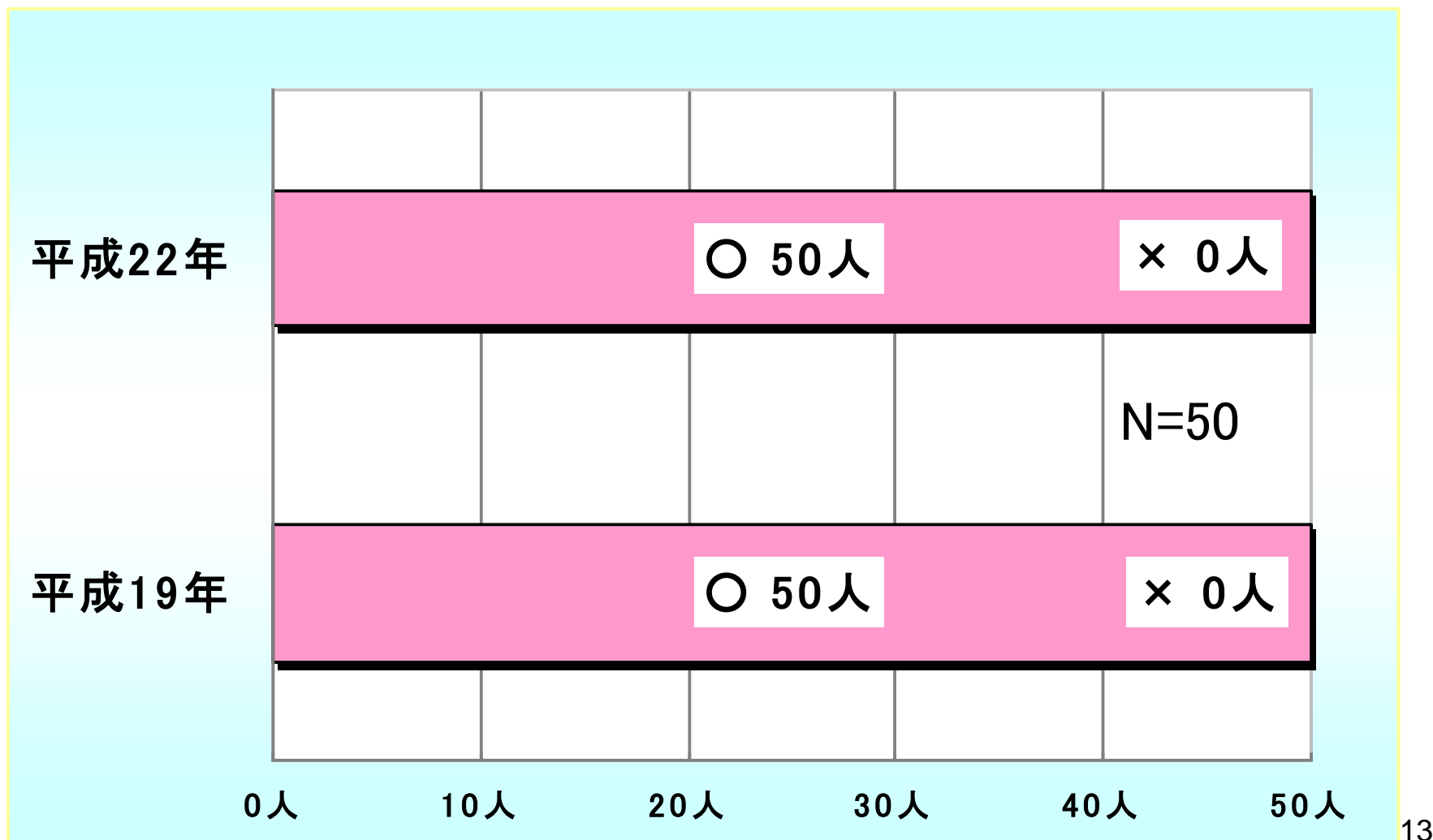
医師は患者に名前を名乗ってもらっているか？



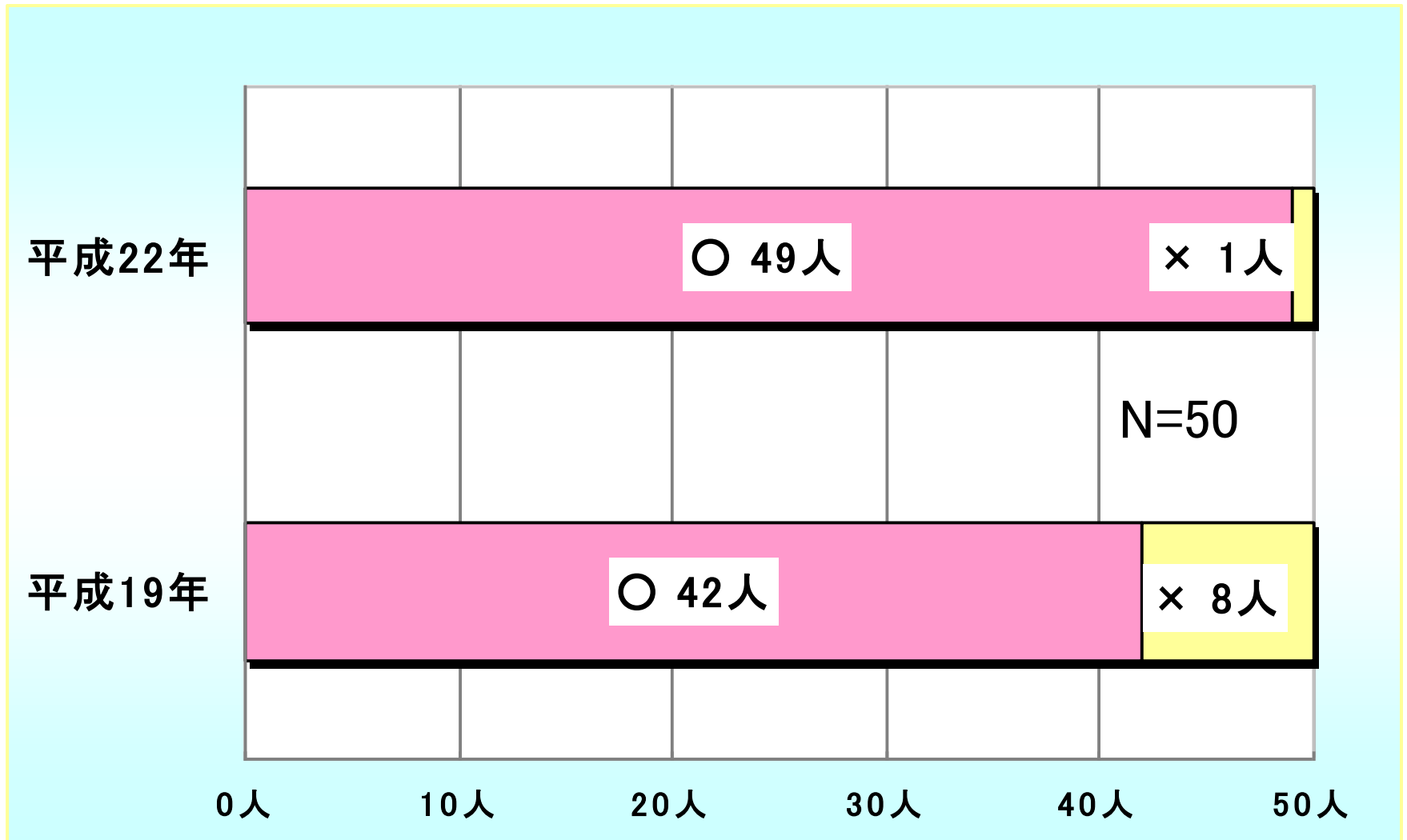
患者は、自ら名乗っているか？



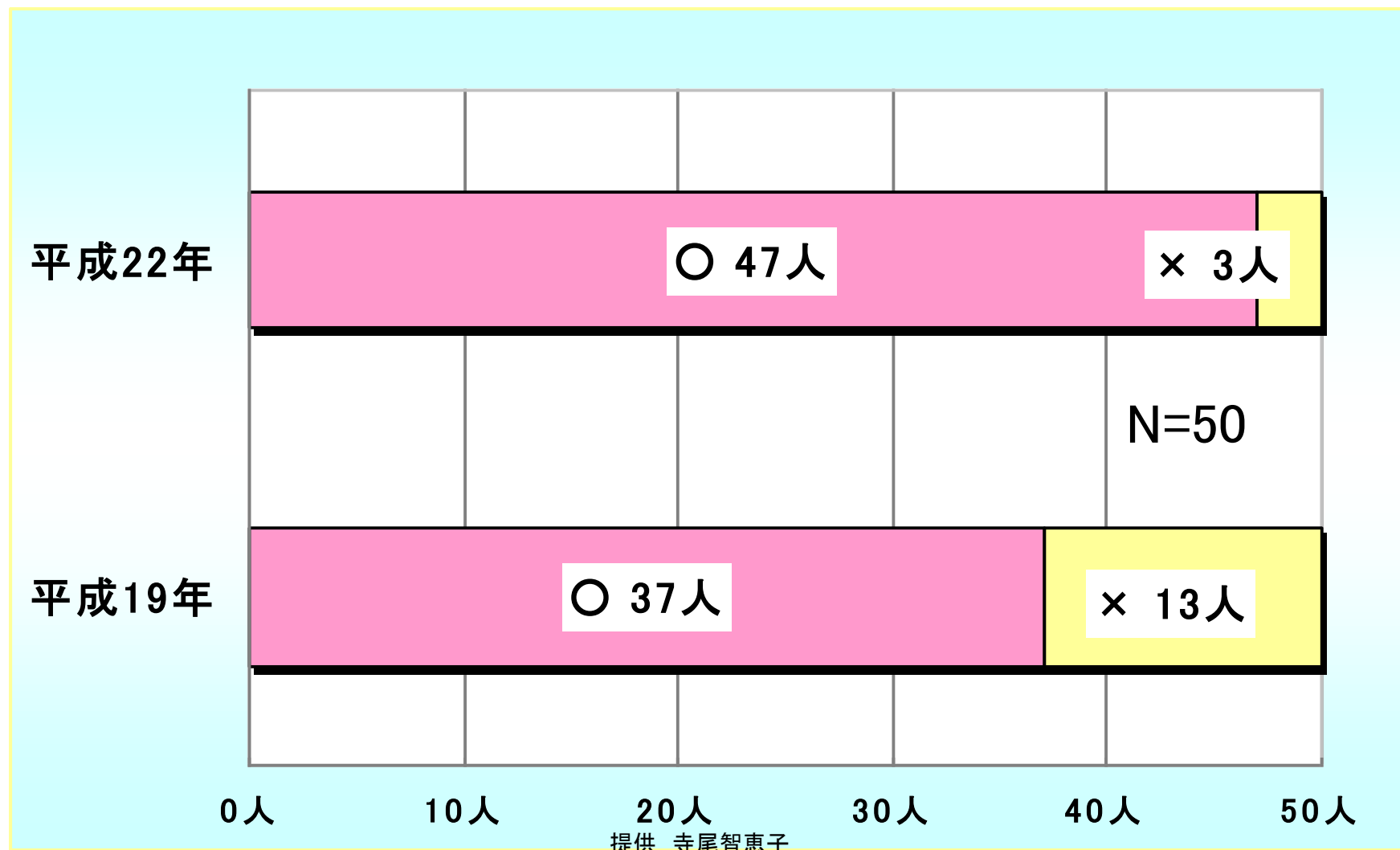
看護師は処置前にカルテで 名前の確認をしているか？



看護師は処置時 患者に名乗ってもらっているか？



患者は処置時、自ら名乗っているか？



通院患者への聞き取り

- 調査日時：平成19年 2月 9日
平成22年10月12日
- 場所： エントランスホール
- 対象： 当院に通院している患者100人

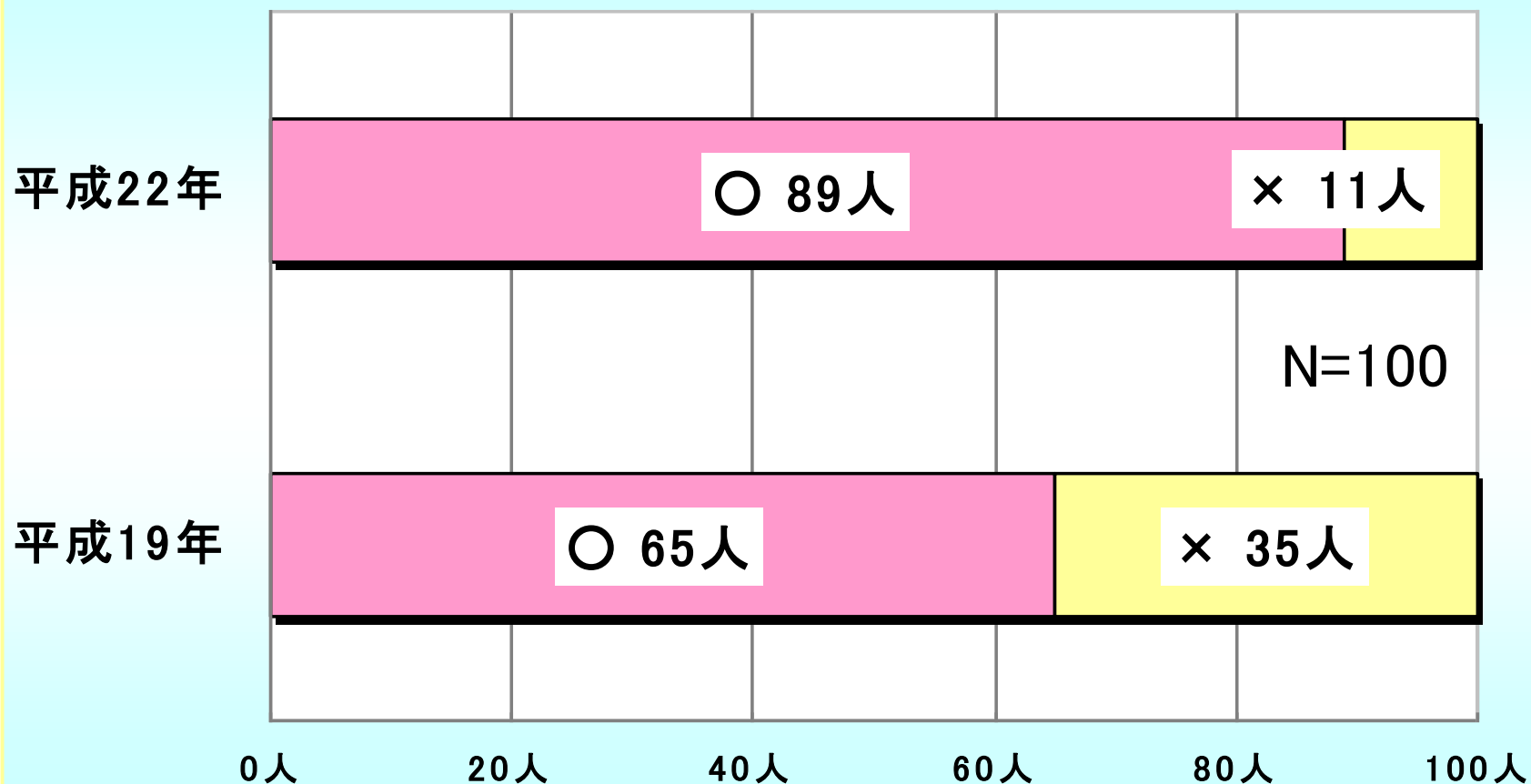
調査内容

1. 医師・看護師・事務員等から診察時、名前の確認をされていますか？
2. 診察時や検査時自分から名前を名乗っていますか？
3. 自分の薬を自分の目で確認していますか？
4. 疑問があったらすぐ医療スタッフに確認していますか？
5. 質問するときや説明を受ける時、メモをしていますか？

調査内容

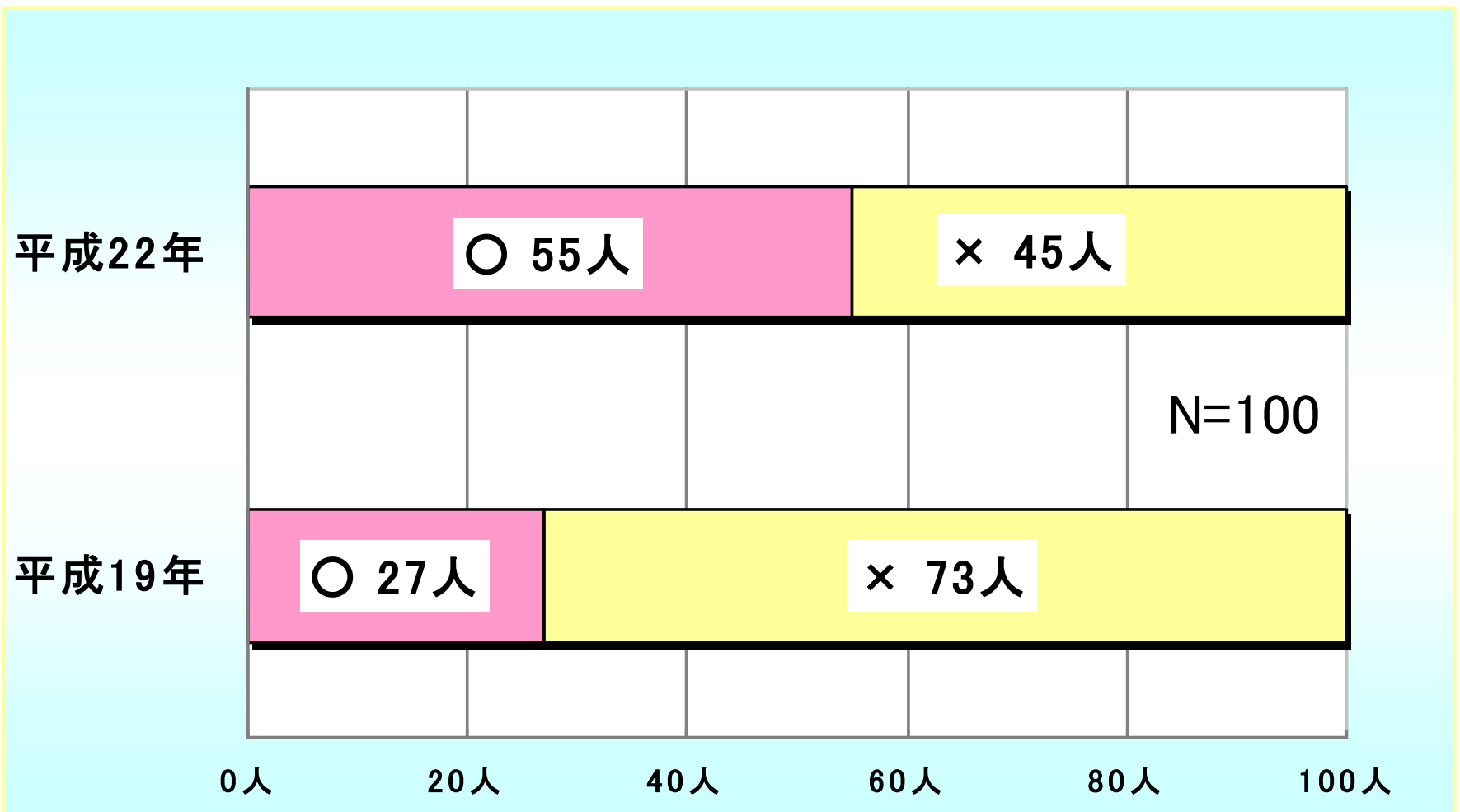
6. 自分が診察時や検査時もしかすると間違えられるかも知れないと思いますか？
→どのような時に思いますか？
7. 当院の診察・検査時でヒヤリとしたことや不安に思ったことがありますか？
→ヒヤリとしたり不安に思った場面

医師・看護師・事務員等から診察時、 名前の確認をされていますか？

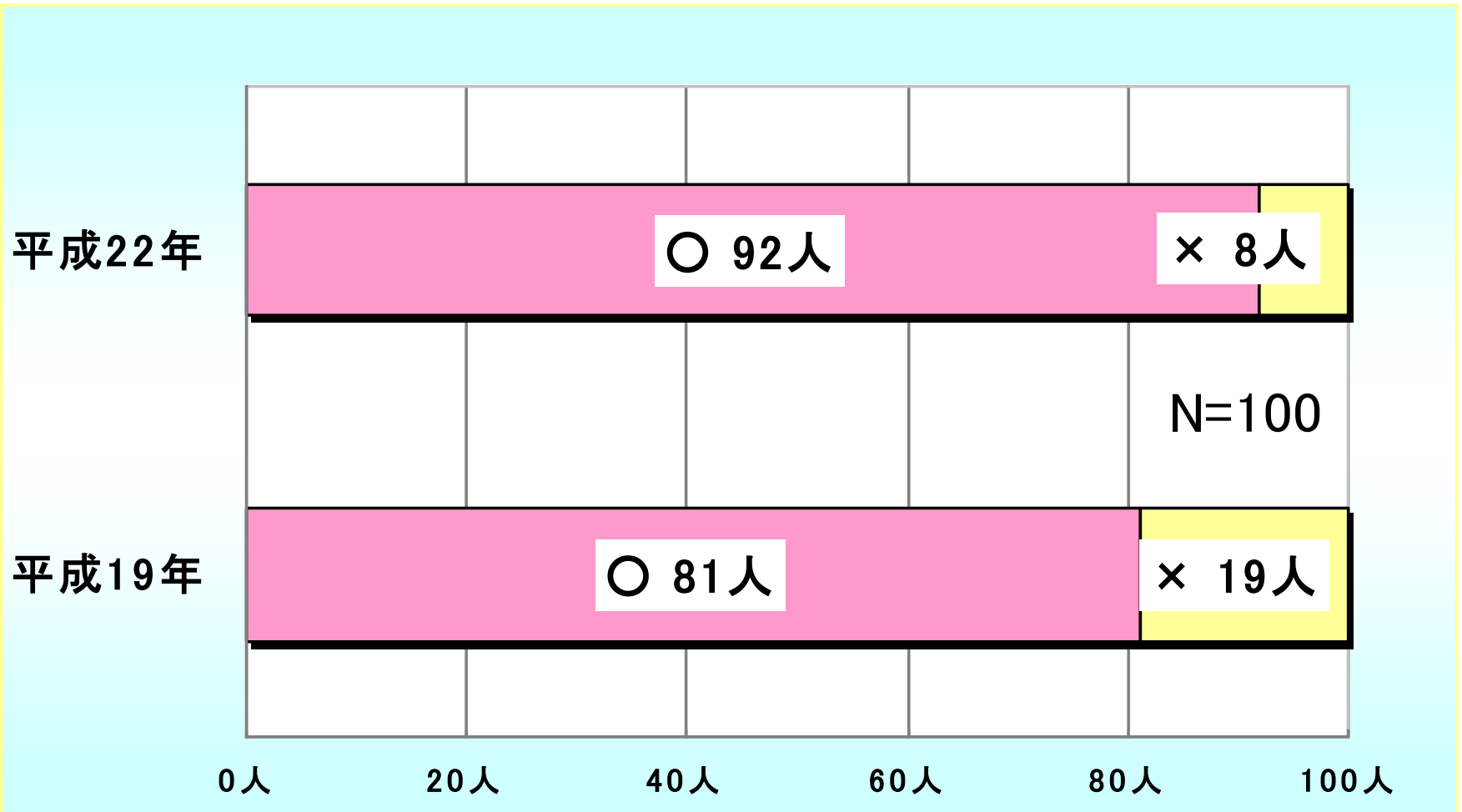


提供 寺尾智恵子

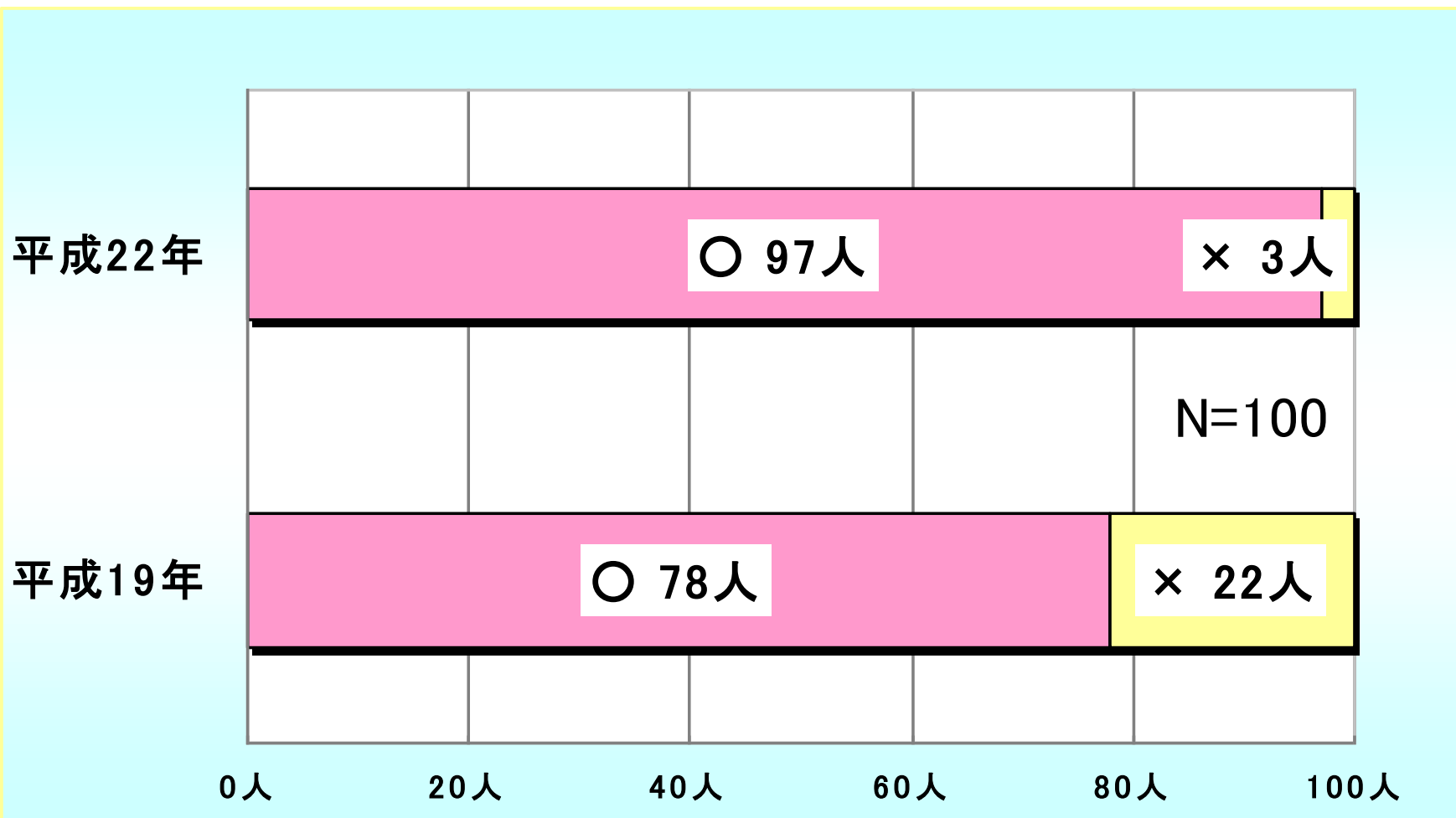
診察時や検査時、 自分から名前を名乗っていますか？



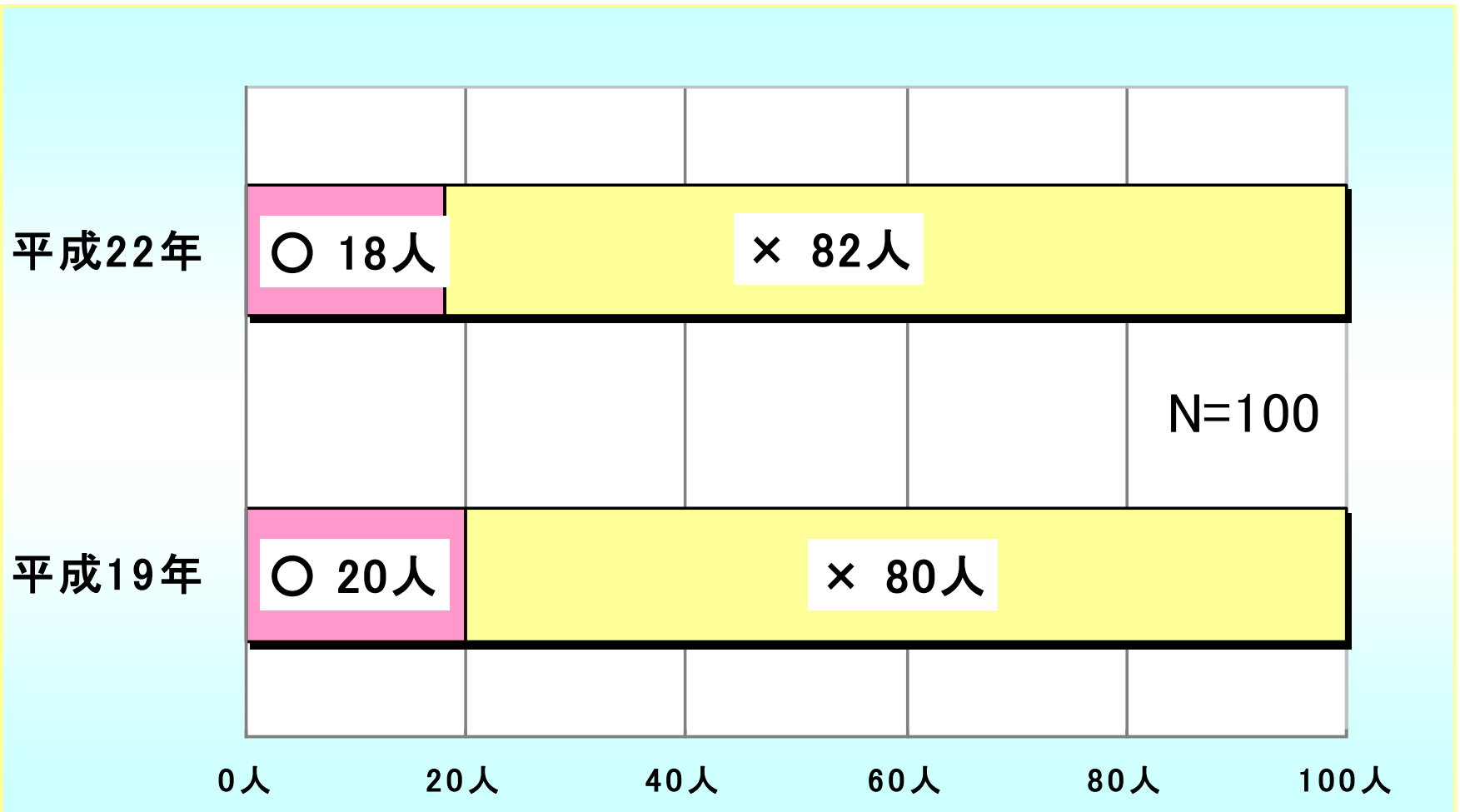
自分の薬を自分の目で 確認していますか？



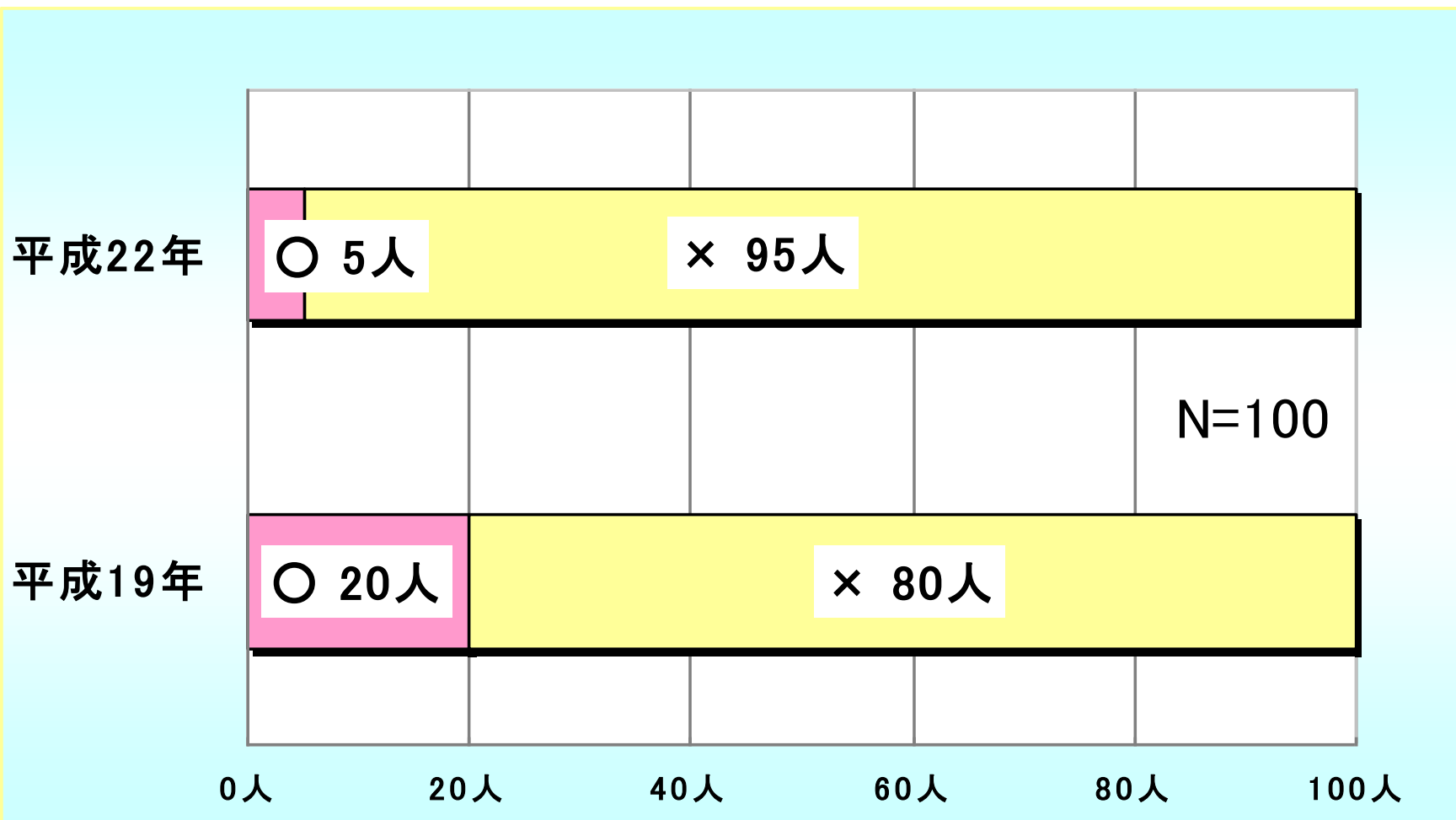
疑問があったらすぐ医療スタッフに 確認していますか？



質問するときや説明を受ける時、 メモをしていますか？



自分が診察時や検査時もしかすると
間違えられるかもしれないと思いますか？



どのような時に思いますか？

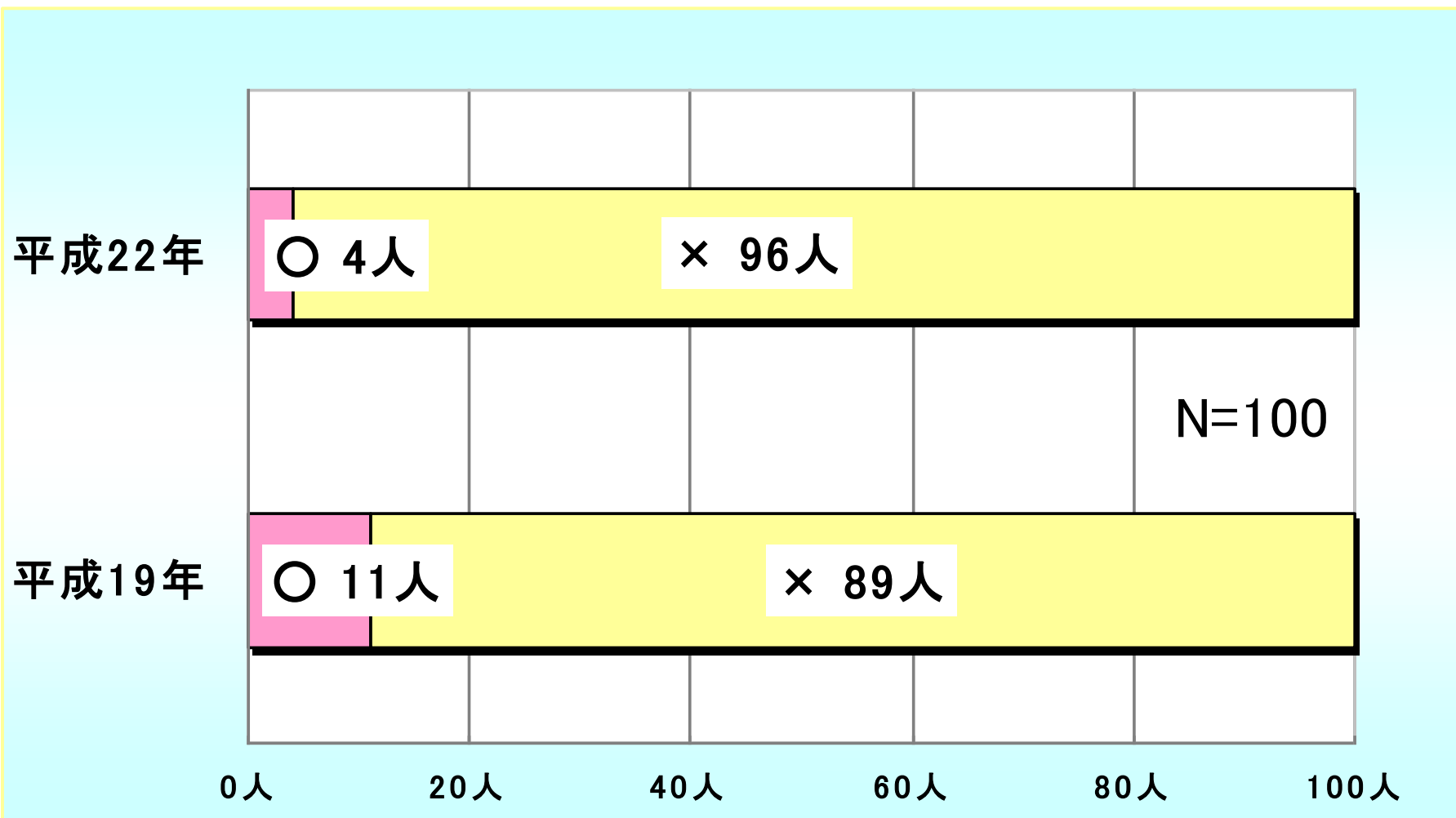
平成19年

- テレビの報道で医療事故ニュースを耳にするから
- 名前の確認をされなかった時
- カタカナで名前が表示されていると必ず読み間違われる→訂正しているが、こういうことから事故になると思う
- 子供が双子なので間違われないか？

平成22年

- ニュースの患者間違い報道を見たとき
- 採血や採尿の取り間違いがないか心配
- 診断を間違えられるかもしれない
- 薬を受け取るとき名乗らないから違う人ではないかと心配
- スタッフが忙しくしているのを見て

当院の診察・検査時でヒヤリとしたことや不安に思ったことがありますか？



ヒヤリとしたり不安に思った場面

平成19年

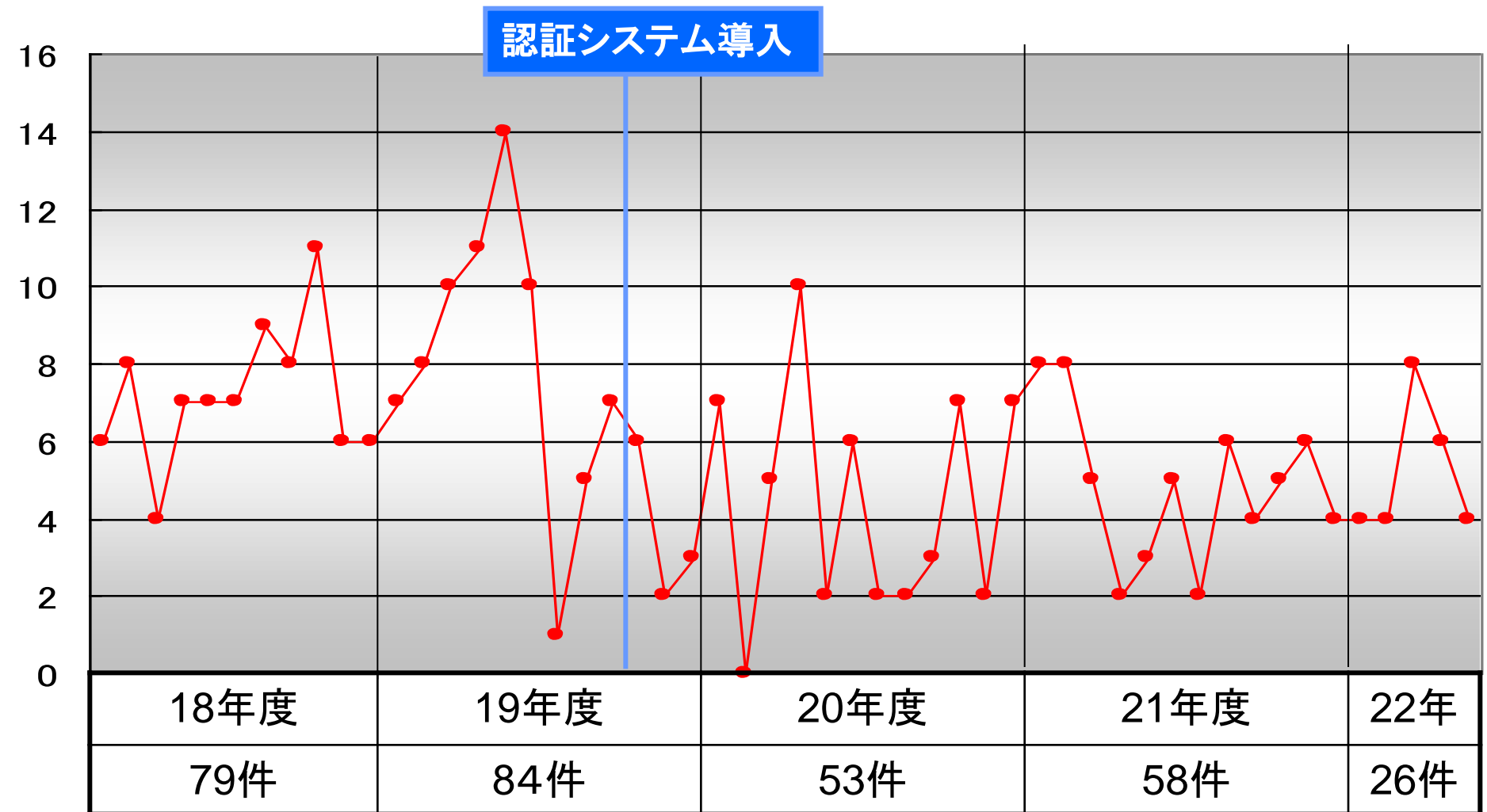
- ・ アレルギーのある薬を処方された
- ・ 似た名前同士で2つの診察室に交差して入った
→パソコンの名前が違っていることに自分で気づき医師に伝えた。
- ・ 医師が「大丈夫ですね」というが何が大丈夫か不安
- ・ 点眼時、間違っていないか不安に思った

平成22年

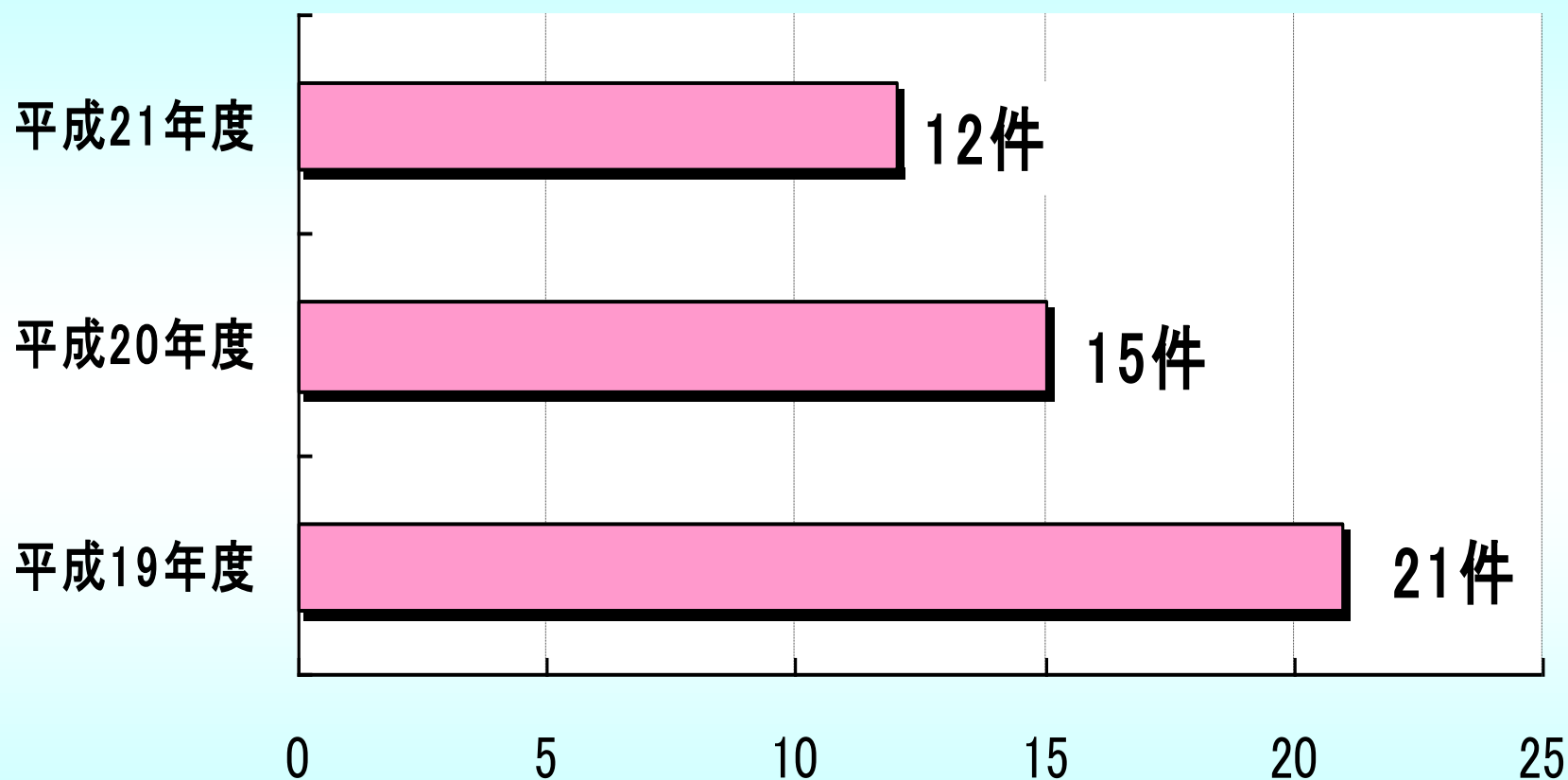
- ・ 内視鏡CFを手荒にやられたことがある
- ・ 採血が下手、CT時造影剤が漏れた
- ・ CT時血管が出なくて漏れてしまった
- ・ 出産で同じ「渡辺」のベビーがいて名札が入れ替わった

患者誤認件数推移

(平成18年5月～22年8月)



名乗ってもらえば防止できた誤認件数



誤認事例

平成19年

入院案内で患者家族に2回「ミメアイ子」さんですね」と確認し病棟に案内した。

病棟へ案内後、入院案内から他の病棟へ入院する「イズミサダコさん」であったと連絡がきて誤認が発覚した。

平成20年

医師が、初診の患者を「シカワカズオさんどうぞ」とアナウンスした。車椅子に乗った患者が入室した。

診察後レントゲン写真を撮りにいった。そこで患者が自分は「タナカです」と言ったため、誤認が発覚した。

誤認事例

平成21年

再診の医師が「フジモトマサオさん」とマイクで呼んだ。医師は診察中何度も「フジモトさん」と呼んで説明し診察が終了した。隣の初診の医師が「ノムラアキオさん」と呼ぶと「フジモトマサヨさん」が「また呼ばれた」と入ってきた。「フジモトマサヨさん」は「ノムラアキオさん」だったことが発覚した。

平成22年

耳鼻科外来で看護師が、「アカイケフサエさん」とマイクで処置室に呼んだ。「お名前を名乗って下さい」と聞くと「アカイケタマエです」と答えたが、処置室にカルテはなく「アカイケフサエさん」と思い込んだ。処置、診察が終了し、会計で保険証を提示したとき、誤認が発覚した。

誤認防止対策

「患者にフルネームで名乗ってもらう」
＝ネームバンドで ID・氏名確認

「指差し・呼称確認」
(同時に行うと集中)

「電話での連絡は、必ずメモし、復唱。」
(記憶はすぐ忘れる)

実施直前の「認証システム」活用
(中断後はやり直す)

最終のとりではど
こ？

わたしです。



田貫湖からの富士山



ふじのみややきそば



提供 寺尾智恵子